

横浜サインの1年間の取組成果と 今後の方向性

第2回横浜サイン・フォーラム
2015.3.1 ヨコハマ創造都市センター



I 横浜サインの1年間の取組成果 (2014.3-2015.2)



「横浜サイン」とは

= 「横浜の魅力ある景観をつくる屋外広告物」

☞ **魅力的な屋外広告物づくりへの
呼びかけ・誘導**



第1回横浜サイン・フォーラムの開催



日時:平成26年3月1日(土) 場所:ヨコハマ創造都市センター 参加者:約120名
 テーマ:サインによる魅力あるまちづくり
 ○基調講演:武山良三氏(富山大学 芸術文化学部教授)
 ○パネルディスカッション
 ・武山良三氏(富山大学 芸術文化学部教授)
 ・菊竹 雪氏(首都大学東京大学院教授)
 ・国吉直行氏(横浜市立大学特別契約教授)
 ・六川勝仁氏(馬車道商店街協同組合理事長)
 ・末廣芳和氏(一般社団法人神奈川県広告美術協会会長)
 モデレーター 桂有生(横浜市都市整備局都市デザイン室)



官民合同「屋外広告・景観」勉強会の実施



日時:平成26年6月16日(月)
 場所:横浜ワールドポーターズ会議室
 内容:屋外広告物が景観形成に果たす役割、屋外広告物のデザイン向上等を
 テーマにした勉強会
 参加者:屋外広告業団体、県内自治体屋外広告物担当者 計約60名



広報パンフレットの作成・配布



市民の方々に横浜サインに興味を持ってもらえるような
 広報パンフレットを作成・配布(平成26年8月～)



横浜サイン2014パネル展の開催



日時:平成26年9月6日(土)、7日(日)
 場所:新都市プラザ 来場者(アンケート回答者):約2,000名
 内容:市内の店舗や通りなどに掲出されている魅力的な広告物の写真パネル展(約50点)



屋外広告物を中心とした元町まち歩き



日時:平成26年11月26日(水)
 まち歩き 午前10～11時 意見交換会 午前11～12時
 内容:広告物をテーマとした街の再発見。看板の持つ魅力等に注目しつつ実際の街を歩き、参加者で課題等を共有する。
 参加者:元町まちづくり協議会、屋外広告業団体、横浜市 計23名



II 横浜サインの今後の方向性



基本的方向性と具体的取組

広げる	深める	進める
パネル展	フォーラム	まち歩き
広報パンフ	官民合同勉強会	まちづくり
サポーター	クリエイターとの対話	
ガイドライン		



基本的方向性と具体的取組

広げる	深める	進める
ガイドライン	クリエイターとの対話	まちづくり
◆広告主等への訴えかけ ◆サイン・デザイン的重要性	◆「横浜サイン」の想いを共有 ◆具体的な進め方について議論	◆地域の動きとの連動 ◆総合的取組への拡大・発展

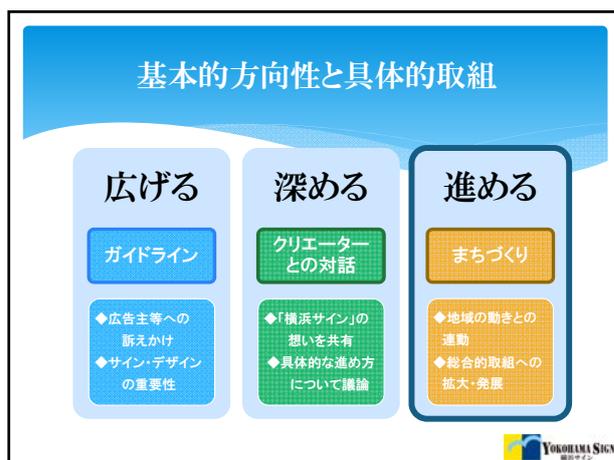
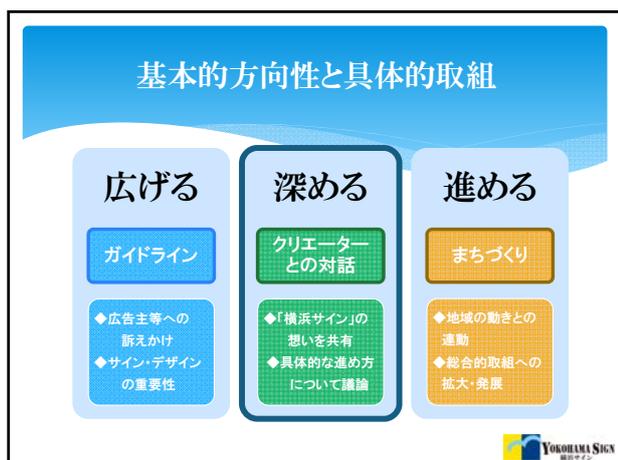


基本的方向性と具体的取組

広げる **横浜サイン・ガイドライン**(仮称)

- ◆ 「横浜サイン」、「横浜サインらしさ」とは
- ◆ サイン・デザインの重要性
 - ✓ 機能性、デザイン性、地域性のバランス
 - ✓ 具体的問題への対処法
- ◆ 具体的な進め方(関係者の役割等)
 - 広告主 × サイン業者・クリエイター × 地域・行政
- ◆ 魅力的なサインの前提(安全性等)





ご清聴 ありがとうございました。



I wish to communicate with you あなたに伝えたい
YOKOHAMA SIGN 横浜サイン